

指導資料

 鹿児島県総合教育センター

社会 第123号

- 小学校, 中学校, 特別支援学校対象 -
平成25年10月発行

金融教育の視点を生かした社会科の授業改善 - 第5学年小単元「自動車をつくる工業」を事例に -

社会科は、社会認識の形成を通して公民的資質（市民的資質）を育成する教科である。⁽¹⁾

中教審答申は、小学校社会科における改善の具体的事項の中で、「社会生活を営む上で大切なルールや法及び経済に関する基礎となる内容の充実を図るとともに、（以下省略）」と述べ、「経済」の視点も重要であることを示している。⁽²⁾

しかし、具体的に「経済」の視点を明確にした実践等の紹介は、十分とは言えない。そこで、本稿では「経済」を「金融教育の視点」、つまり「お金の流れ」に着目することで、児童生徒の社会認識が深化することを小学校第5学年の小単元「自動車をつくる工業」における指導例で紹介する。

1 金融教育について

(1) 金融教育の定義

金融広報中央委員会は、「お金にかかわる幅広い教育」を金融教育と呼び、次のように定義している。

金融教育は、お金や金融の様々なはたらきを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。⁽³⁾

さらに、金融教育の内容を整理・体系化し、明示している。⁽⁴⁾

(2) 学習指導要領と金融教育の視点

第5学年の内容(3)は以下の通りである。

我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。
ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること
イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など
ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き⁽⁵⁾

さらに、内容の取扱いで「内容の(2)のウ及び(3)のウにかかわって、価格や費用、交通網について取り扱うものとする。」と示し、小学校学習指導要領解説社会編では、「価格や費用については、製造の過程で様々な費用がかかること、原材料の確保や製品の輸送のための費用がかかることやそれらの費用が価格に影響を与えていることなどを取り上げることが考えられる。⁽⁶⁾」としている。

具体的には、「お金の流れ」を視点とすることで、これまでの本小単元の指導では見えにくかった、製造過程における「もの」と「お金」の動きが見えるようになり、「原材料費」、「材料・部品費」、「人件費」、「研究・開発費」、「宣伝・広告費」などといった生産・販売に係る費用が、価格に影響していることを理解させやすくなり、社会認識の深まりが期待できる。⁽⁷⁾

2 小单元「自動車をつくる工業」

(1) 小单元の構想

本小单元⁽⁸⁾は、全10時間とし、概念探究過程(8時間)と価値分析過程(2時間)の授業理論⁽⁹⁾に基づき構想している。

ア 第1時

(資)は資料

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|--|--|
| 自動車の価格に含まれる費用を考えたり、自動車生産について話し合ったりして、小单元の学習問題を設定する。 | 自動車の価格には、様々な費用が影響していることを理解する。 (資) 自動車の広告 (資) 自動車の見積書 (資) デジタル掛図 ⁽¹⁰⁾ |
| (小单元の学習問題) | |
| 自動車は、どのようにしてつくられているのだろう。なぜ、消費者のニーズに合わせた自動車を大量につくることができるのだろう。また、なぜ、エコカーなどを開発しているのだろう。 | |



図1 自動車の価格と費用

イ 第2・3時

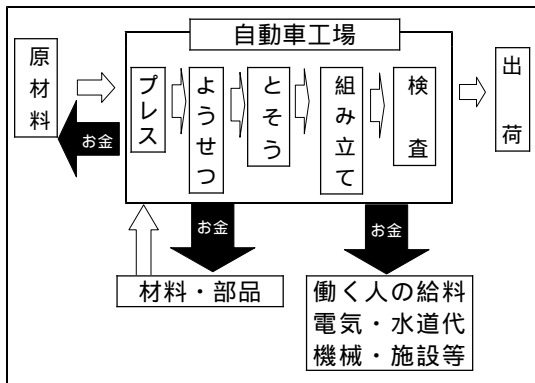


図2 自動車工場の流れ

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|--|---|
| 自動車工場では、機械化が進み、さらに、流れ作業、分業によって短時間での大量生産が行われていることを理解する。また、無駄をなくし効率よく生 | 自動車の生産には、人件費、材料費、施設・設備費、光熱費、輸送費などが必要であることを理解する。また、生産受注することのよさを理解する。 |

産するために、多品種少量生産を行っていることを理解する。

(資) 自動車の生産工程
(資) パンフレット

ウ 第4時

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|--|--|
| 組み立て工場の指示を受け、部品工場では必要な数を決められた時刻までに納品していることを理解する。 | 組み立て工場と関連工場の関係を、品物の流れとお金の流れを基に理解する。 (資) 部品の流れ |

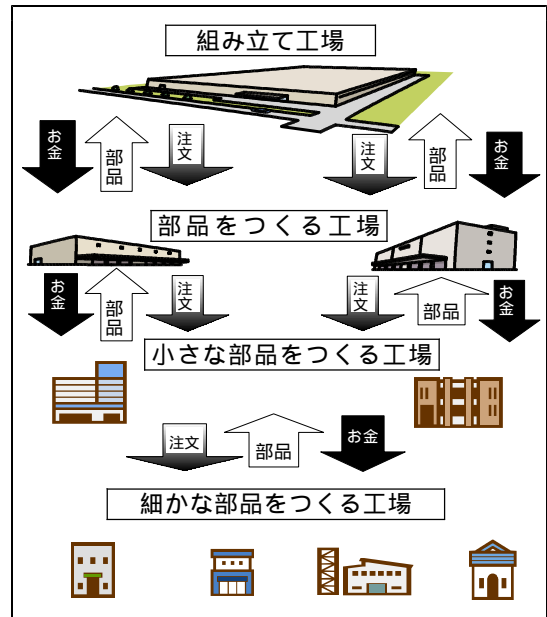


図3 部品やお金の流れ

エ 第5時

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|---|--|
| 組み立て工場から自動車を出荷する際は、輸送費用を安くするために、船やキャリアカーで輸送していることを理解する。 | 船とキャリアカーの長所を生かした輸送をすることで、コストを抑えていることを理解する。 (資) 自動車運搬船 (資) キャリアカー |

表1 船とキャリアカーの比較

| | 積載量 | 時間(北九州～東京) |
|--------|-------|------------|
| 船 | 6249台 | 32時間 |
| キャリアカー | 7台 | 12時間 |

オ 第6・7時

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|---|--|
| 自動車が生活に不可欠な工業製品であることを理解する。また、自動車が有している課題を解決し、より安全に人や環境にやさしい自動車の開発が進めら | より安全で人や環境にやさしい自動車の開発が社運を左右するため、自動車会社は多額の費用を投じて研究を続けていることを理解する。 |

れ、生活を豊かにしていることを理解する。

④ ガソリン車、ハイブリッドカー、電気自動車の性能の比較

表2 ガソリン車とハイブリッド車⁽¹¹⁾

| | 燃費 | 1km当たり | 車両価格 |
|---------|--------|--------|------------|
| ガソリン車 | 20.0km | 8.0円 | 1,650,000円 |
| ハイブリッド車 | 33.0km | 4.9円 | 2,075,000円 |

レギュラーガソリンの価格を1リットル160円で設定

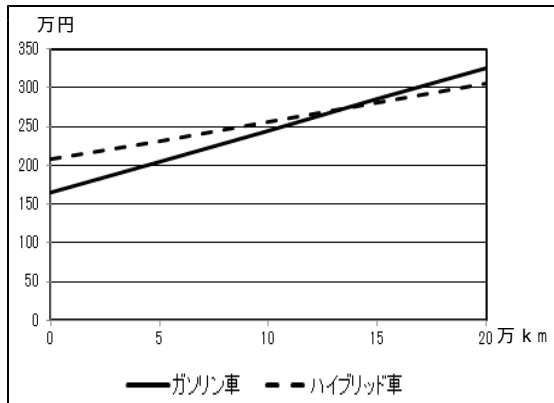


図4 ガソリン車とハイブリッド車のコスト均衡点
力 第8時

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|--|---|
| 自動車工業は、消費者のニーズや社会の要請に応えるため、多品種少量生産やジャストインタイム方式を採用し、効率よく品質の良い自動車を生産していることを理解する。また、新しい技術の開発も行い、環境や人にやさしい自動車をつくり続けていることを理解する。 | 自動車の価格に反映される費用を、自動車の生産・販売の流れなどから理解する。またお金の流れから、関連工場と自動車工場の関係や技術開発の意味などについて理解する。 ④ 工場の立地 ④ 海外に進出する工場 |

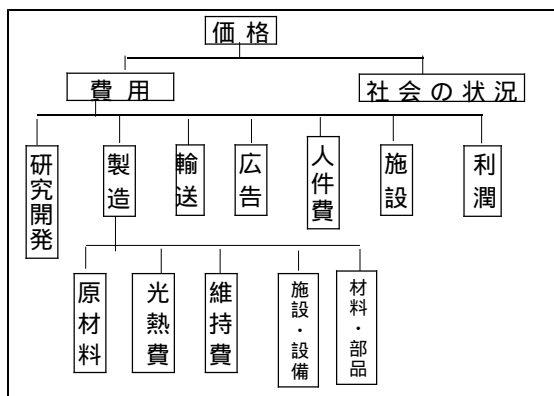


図5 価格と費用

キ 第9・10時

| 目 標 | 金融教育の視点 |
|-----------|-----------|
| 学習して習得した知 | 動力の異なる自動車 |

識や未来予測の結果などから、自動車購入についての合理的意志決定を行う。⁽¹²⁾

の長所や短所を踏まえ、経済的な視点を生かして合理的に判断する。
④ 価格と性能

あなたが自動車を購入するとしたら、どの自動車を選びますか。それはなぜですか。

- 1 ガソリン車
- 2 ガソリン車(スカイアクティブ搭載車)
- 3 ガソリン車(エコパ-チャージャー搭載車)
- 4 ハイブリッド車
- 5 プラグインハイブリッド車
- 6 クリーンディーゼル車
- 7 電気自動車

図6 第9・10時の論題⁽¹³⁾

(2) 期待される社会認識の深化

ア 自動車の生産に係る費用

自動車1台には約3万個の部品が使用されており、多くの関連工場がある。また、組み立て工場ではロボットなどの機械化が進んでおり、工場の施設・設備費、維持費、光熱費にも多額の費用が必要である。金融教育の視点を生かした授業を展開することで、このような知識を児童は習得するとともに、見えにくかった仕組みやつながりを実感的に捉えながら理解することができる。さらに、組み立て工場と関連工場の位置や高速道路や港との関係などについても説明できるようになる。

また、生産の効率を上げるために、在庫を置かない工夫や多品種少量生産を行うなどの企業努力についても理解することができる。

イ 研究開発に係る費用

現在、自動車の部品の90%以上がリサイクルされたり、ユニバーサルデザインの自動車や燃費の良い自動車の開発が進められ、より快適な生活が送れるようになってきている。このような

自動車の開発には、研究が必要であり、その費用も価格に反映されていることを納得して理解することができる。⁽¹⁴⁾

また、ハイブリッド車と同型ガソリン車の価格差を埋めるには、図4のとおり約13万7千kmの走行距離で均衡がとれるといった事実から、自動車を選択する際の視点を得ることも可能である。

小学校第5学年の小単元「自動車をつくる工業」を例に、金融教育の視点を採り入れることで社会認識が深まることを述べた。

お金の流れを把握することで、ものや人などのつながりが見え、社会事象間の関係が理解できるようになり、社会認識が深まっていく。このことは、中学校社会科においても同様である。⁽¹⁵⁾学校現場において、金融教育の視点を導入することにより、児童生徒の社会認識が深まった実践の蓄積が図られることを期待したい。

〔引用文献及び註〕

- (1) 森分孝治,片上宗二編著,「社会科重要用語300の基礎知識」,明治図書,平成12年4月,P.26.及び岩田一彦,米田豊編著,「『言語力』をつける社会科授業モデル小学校編」,明治図書,平成20年3月,P.37.を参考にした。
- (2) 中央教育審議会答申,「幼稚園,小学校,中学校,高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」,平成20年1月.
- (3) 金融広報中央委員会,「金融教育プログラム - 社会の中で生きる力を育む授業とは - 」,図書印刷,平成21年8月,P.10.
- (4) 上掲(3)のPP.30~33に金融教育の目標と内容等を示すとともに,小・中・高等学校における教科等の指導計画例も併せて記載されている。
- (5) 文部科学省,「小学校学習指導要領」,平成20年,P.37.
- (6) 文部科学省,「小学校学習指導要領解説社会編」,

東洋館出版,平成20年8月,P.65.

- (7) 産業学習における「価格や費用」を取り上げる際の課題として,国立教育政策研究所の澤井は,「(前略)しかし,人件費や研究開発費など費用をどこまで調べるか,それらが価格に影響を与えていることをどのように説明するかなど指導上の課題は多い。」と述べている。澤井陽介,教育科学社会科教育,明治図書,平成25年9月,P.127.
- (8) 本小単元を構想する際に,兵庫教育大学大学院修士論文(福田弥彦,「比較法を組み込んだ小学校社会科の授業開発 - 習得した知識の活用による社会事象間の関係把握をめざして - 」,平成24年2月)を参考にした。
- (9) 概念探究過程,価値分析過程の詳細については,次の書に詳しい。岩田一彦,「社会科固有の授業理論・30の提言 - 総合的学習との関係を明確にする視点 - 」,明治図書,平成14年6月,PP.90~94.
- (10) 東京書籍の「新しい社会5年デジタル掛図 Ver.2.」を活用した。費用を想起する際のヒントとしての活用や検証のための資料としても使える。
- (11) 表2の作成に当たっては,トヨタのカローラアクシオ(1.5G)のガソリン車とハイブリッド車で設定した。先行研究では,河本学がガソリン車とハイブリッド車の均衡点は約15万kmとしている。詳しくは,岩田一彦,米田豊編著,「『言語力』をつける社会科授業モデル小学校編」,明治図書,平成20年3月,PP.107~113.を参照されたい。
- (12) この目標に対する評価は,どの車を選択するかではなく,車を選択した理由を論理的に記述できているかがポイントになる。既習の知識や未来予測の結果,友達との討論などを生かして,合理的に意志決定することが重要となる。
- (13) 第9・10時の自動車購入の視点としては,価格,燃費,二酸化炭素排出量などが考えられる。また,学級の実態や教材の準備状況によっては,ガソリン車,ハイブリッド車,電気自動車に絞って児童に考えさせることも可能である。
- (14) 研究・開発費を「道路運送車両法」など法教育の視点から説明することも今後考慮していきたい。
- (15) 平成24年11月の土曜講座において,塩満貞徳が中学校公民的分野の単元「価格の働きと金融」における「投資」の授業プランを,奥野裕樹が小学校第3学年単元「工場ではたらく人」の実践事例を紹介しており,実践の蓄積が図られつつある。
(教職研修課)